

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(36)番 福山市立神辺西中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	自ら課題を発見し、身に付けた技能や既習事項を生かしながら、筋道を立て課題を解決しようとする力が身につけている。	課題を解決するために既習事項を生かし、対話を通じて、互いの相違点を理解し、深い学びをめざすことができる。	自己と他者の違いを受け入れ、協働しながら課題を解決し、よりよい生活をめざし続けようとしている。

2 授業の現状

・ペアや小グループを活用した授業展開や「あっ」と思う導入や発問、掲示物の工夫により「授業が分かる」と肯定的にとらえている生徒は78%である。反面、学習に対して受動的な生徒がおり、主体的な学びを促し、「課題発見・解決力」「思考力・判断力・表現力」を育成する手立てや工夫が必要である。

転換

3 めざす授業の姿

・単元計画に基づき、生徒のパフォーマンス、グループ学習を効果的に取り入れた授業づくりをする。
・振り返りを通じて、生徒が自らの成長やわかる喜びを感じ、習得事項が実社会と繋がる授業づくりをする。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが自分の考えや意見の発表ができる授業を各単元に1回以上は仕組み、グループ学習を通してお互いの考えを深め合う授業づくりを行う。 定期テストで実社会、生徒の日常生活と繋がりのある活用型問題を取り入れる。そのことで課題発見解決力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 1学期生活アンケートにおいて、「この授業で先生は、班やペアで教え合ったり、学び合ったりする形式を取り入れて授業をしてくれます」の肯定的評価は83%であった。 全教科で活用問題を取り入れた定期テストを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、生徒自らが自分の考えや意見の発表ができる授業を各単元に1回以上は仕組み、グループ学習を通してお互いの考えを深め合う授業づくりを行う。目標数値は85%とする。 引き続き、定期テストで活用型問題を取り入れ、課題発見解決力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 2学期生活アンケートにおいて、「この授業で先生は、班やペアで教え合ったり、学び合ったりする形式を取り入れて授業をしてくれます」の肯定的評価は84%であった。(最高値:93.5%,最低値:67.2%) 継続的に全教科で活用問題を取り入れた定期テストを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自らが自分の考えや意見の発表ができる、グループ学習を通してお互いの考えを深め合う授業づくりを行う。目標数値を85%以上とする。 振り返りを行い、授業でわかったこと、自分の成長を実感させる。目標数値を80%以上とする。 定期テストで実生活と関連のある活用型問題を取り入れ、課題発見解決力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活アンケートにおいて、「この授業で先生は、班やペアで教え合ったり、学び合ったりする形式を取り入れて授業をしてくれます」の肯定的評価は85%であった。 生活アンケートにおいて、「この授業で先生は、「振り返りシート」を記入し、授業のまとめを書く時間をとってくれます」の肯定的評価は80%であった。 継続的に全教科で活用問題を取り入れた定期テストを行っている。 生徒アンケートにおいて、「物事の解決方法を複数考えています」に対する肯定的評価は65%であった。

5 取組の結果等

数値は2019年(H31年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)	
国語	70(-4)	自分にはよいところがある	68.7
数学	59(-1)	先生はよいところを認めてくれる	75.6
英語	53(-3)	将来の夢や目標を持っている	75.6
英語(話す)	29	人の役に立つ人間になりたい	95.6

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査	〈児童生徒質問紙調査〉(%)	(肯定的評価)
学校へ行くのは楽しい		85.8
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている		70.0
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみよう」と思う		60.8
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている		84.2

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%)	(2)月末現在
暴力行為	0.5
不登校	6.2

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 16/24	ボール投げ1m以上向上という目標値に対し、1m以上の向上は図れなかったが、1/2の割合で記録を向上できた学年があった。	男子は持久走、ボール投げ 女子は持久走、上体起こしに特に課題が見られる。	体育の授業の中で補強運動としてトレーニングを行う。 長距離の授業でトレーニングを継続的に行う。
(女子) 11/24			
目標値	男子:ボール投げ1mの記録向上 女子:持久走クラス半数が4分以内に走る。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	80.9	19.1
仕事に充実感がある	80.9	19.1

児童生徒アンケート(%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	68.5	31.5
自分の考えは、認められている	77.5	22.5